



うさぎだより

中野区議会議員 無所属

佐藤ひろこ

[事務所] 〒164-0001 中野区中野1-33-9 TEL/FAX.3368-9107 [区議会] 〒164-0001 中野区中野4-8-1 市民自治控室 TEL.3228-8874
http://homepage2.nifty.com/usagidayori/ mail : usagidayori@hotmail.com 編集:住民自治をすすめる会 発行:市民自治

佐藤 10月から障害者自立支援法が全面的に実施される。区市町村にまかされる、地域生活支援事業「は、車いすや視覚障害者、知的障害者ガイドヘルプや手話通訳などを含み、障害者の社会参加を支える重要なサービスである。区長は、地域生活支援事業は基本的に無料とし、社会参加を保障する」とマニフェストに掲げたが、その内容は？
区長 地域生活支援事業はすべての方の社会参加を等しく支えていくという事業である。手話通訳などのコミュニケーション支援、日常生活用具給付(ストマ用具等)、相談支援は無料。移動支援、視覚障害者、知的障害者、

聞いたににくい人のために
要約筆記者派遣事業が
実現へ

佐藤 要約筆記者の速記をO

2006年第二回定例会 佐藤ひろこ一般質問

全国に先がけ 障害者の社会参加を保障 地域生活支援事業の 原則無料化を実現!

やったね!皆さんと共に行ってきた取り組みが実り、5月に田中区長は「地域生活支援事業を原則無料にする」との方針を掲げ、7月区議会で佐藤ひろこの質問に、その内容を答弁しました。全国に先駆けた取り組みとして、8月に新聞各紙やNHKニュースでも報道されました。財政再建が福祉の充実につながっています。



通所施設の 食費の軽減を実現

佐藤 法改正で4月から通所施設の利用料が定率負担になり、一人平均6千円から7千6百円ほどアップし、食費は今まで無料だったものが1ヶ月1万3千円になった通所施設

HPでスクリーンに映す要約筆記は、難聴や高齢で聞こえにくい方々に役立つ。要約筆記者派遣を区の事業とし、施設にOHPを設置するなど取り組みが必要があるが、どうか。
区長 要約筆記者派遣事業を実施し、施設へのOHP等機材の設置等も検討していく。

24時間365日の 在宅を支える サービスが実現へ

設もある。利用者負担の軽減策をできるだけ早く実施するべきだ。
区長 10月から利用者の食費負担を軽減する。

佐藤 「24時間365日区民の暮らしをサポートする区役所」が、区長のマニフェストにかかげられている。高齢者や障害者も利用できる24時間365日の相談窓口とサービスの拠点を早急に実現するべきだ。東松山市では24時間の相談窓口とヘルプ・ステーションがあり、24時間365日の福祉サービスが実現している。これまでの縦割りの仕組みを改め、だれもが利用できるユニバーサルな支援の仕組みづくりをすすめている。中野区ではどのような方法で24時間365日のサービスを実現させていくのか。

区長 高齢者においては、今年度開設した地域包括支援センターで対応しているが、拡充し、障害者相談事業所の整備をすすめるべく早い時期に、高齢者・障害者の総合的な相談支援体制を確立していきたい。



障害福祉計画策定に 当事者参加が実現

佐藤 計画作りからの障害者の参加が大切だ。今年度中に区で定める障害福祉計画の策定にあたって障害当事者の参加

知っていますか？

田中区長の二期目の政策 「マニフェスト」開け！明日への扉



佐藤 田中区長は、財源や期限に裏付けられた公約であるマニフェストを作成したが、一番訴えたかったことは何か。

区長 区民みんなの手で、新しい中野をつくる10カ年計画を進め、豊かな地域社会を実現していくのか、それとも、改革を放棄して再び自治体破綻の道を歩み始めるのか、有権者の皆様へ選択を求めた。

佐藤 二期目のポイントは、区民や民間の力を生かす政策が実現できるかどうかだ。区民提案型の委託事業の実施や、環境と緑を守る区民ファンド、区民活動センターの運営など、新しい公共をつくる事業は区民の力なくしては成り立たない。どのように取り組むのか。

佐藤 マニフェストは、その実現度について事後の検証が可能であることが必要な条件。区長はマニフェストの達成状況の評価・検証をどのように考えているか。

をどのように考えているのか。
区長 中野区保健福祉審議会のもと、区と障害当事者、作業所、事業者、行政の職員などがメンバーとなった、課題別の6つの検討チームを作り、サービス内容や基準など具体的な項目について検討をすすめる。

区長 区民の皆様が積極的に参加をいただくことが欠かせないと考えている。検討段階からの区民の参加や、対話集会などの際に、新しい区政のあり方を直接区民に働きかけるなど考えている。

区長 マニフェストの項目に掲げたものは原則としてこの4年間を達成の期限とし、財源についても10カ年計画で示した財政運営計画の範囲内でできることを掲げた。マニフェストの検証は一つの任期4年間

をサイクルとして行なわれるべきものと考えている。ただし、今回のマニフェストは10カ年計画を土台としているので、検証は区政運営のPDCAサイクル計画・実施・評価・改善のサイクルの中で行なうことができる。

をサイクルとして行なわれるべきものと考えている。ただし、今回のマニフェストは10カ年計画を土台としているので、検証は区政運営のPDCAサイクル計画・実施・評価・改善のサイクルの中で行なうことができる。

人にやさしい 交通政策の実現を

佐藤 吹田市交通バリアフリー基本構想策定委員会を傍聴した。聴覚、視覚、身体などの各障害別の委員をはじめ、子育て、介護の立場からの公募委員

や交通事業者、行政職員が参加した協議会で、地区別の整備構想が議論されていた。

国会で交通バリアフリー法が見直され、新しい法律が成立し、中野区でも区の交通バリアフリー整備構想の見直しが必要と考える。中野駅をはじめ東中野駅、野方駅などの周辺はバリアフリーの重点整備地区に指定されている。見直しにあたって、区民も参加した委員会の設置が必要と考えるが、どうか。

区長 新法に基づく基本構想の策定にあたっては、施設を利用する高齢者、障害者等の意見を反映する仕組みも含め、検討していきたい。

佐藤 高齢社会の進展で、外出するのに車などの移動手段を必要とする区民は、全人口の3

4%になるそうだ。今後の移送サービスの展開について、どのように考えているのか。
区長 必要な時に目的地に移動できる移送サービスの需要は、今後ますます増加していく。携帯電話を使った会員制地域内交通システム、中野区版のオンデマンド型自動車輸送システムを検討したい。

太陽光や風力など 自然エネルギーの活用を

佐藤 区は地球温暖化防止戦略として、太陽光や風力発電などの自然エネルギーの活用を示し、グリーン電力証書の普及や、自然エネルギー利用拡大のための区民ファンドの設立などを計画化している。都もこの3月に、再生可能エネルギー

だれもが自由に出かけられるために

約30年前の学生時代、私は、施設から出て地域で暮らしたいと願うIさんの車椅子を押ししていた。Iさんは、あなたは好きなのに、映画を観に行けたり、買い物したりできる。私も私も20歳だった。同じ20歳なのに、Iさんには自由がない。重い障害があっても出かけられる街を実現したい、これが私の願いとなった。

あれから30年

あれから30年、施設から地域へは今や厚生労働省も掲げるスローガンとなった。電動車椅子などの介護機器の向上、公共交通機関のバリアフリー化、ガイドヘルパー制度などの発展で、障害のある人達が街に出かけられる手立ては少しずつ広がってきた。この10月からは障害者自立支援法により移動支援が、自治体に任せられる地域生活支援事業になる。ますます自治体の政策が重要になる。



ふれあい運動会で玉入れに参加

「ギ」戦略」を策定した。どのような連携を都とはかり施策を実現するのか。

区民部長 都とはすでに情報交換をすすめている。今後也十分連携しながら施策推進につとめる。

**環境や
障害者雇用状況を
総合評価する
入札制度が実現へ**

佐藤 2年前の定例会で、私は環境や障害者雇用などの社会的価値を総合的に評価する契約の仕組みを検討するよう提案した。中野区保健福祉総合推進計画に、障害者雇用企業に、入札の優遇措置をはかることが計画されたが、どのように

実施するのか。

総務部長 今年度から、建築工事などについて、試行的に、工事実績に加え、高齢者や障害者の雇用状況、ISOの取得状況

**区議会質問への感想メールから
たくさんの方が傍聴してくださいました。**

区議会にはまだ手話通訳をつける制度がないので、聞こえない方々は障害福祉課からの手話通訳をつけて傍聴しました。聞こえにくい方のために議会に設置されている磁気誘導ループが使えませんでした。修理することになりましたが、事前チェックが必要です。

K・Yさん

区議会を傍聴しました。区長答弁で、福祉の中野に戻ったと、非常に感慨深かったです。このような内容が実現できたのは、中野の障害者がんばったからと、自負しています。

中野区は「コミュニケーション支援だけでなく、ガイドヘルプも含め、社会参加型の地域生活支援事業は、原則として無料(利用者負担なし)」となりました。

要約筆記派遣事業も実施の方向です。

24時間365日利用のできる、福

も評価の基準に加えて、入札参加者を選定している。総合評価契約制度も導入する方向で、年内には具体的な方針を示す。

社相談支援体制を考えていきます。

中野区の事業入札や委託を決めるときに、障害者雇用率を達成しているかどうか、環境基準をクリアしているかどうかなどが、評価基準として入ります。

H・Oさん

Yさんの区議会傍聴レポを読み、私たちの未来を開拓する、橋頭堡が築かれつつあると感じました。田中区長、佐藤議員の、現実にして未来を洞察するエネルギーに、敬意を表したいと思います。区長の思いが、どのように区や関係関連機関の「現場」に浸透し、開花していくかが鍵になっていくとも思います。その意味においても、各当事者団体の姿勢と力量が問われてくるようにも感じます。

T・Yさん

通所施設の利用料が日割り

計算です。国の支援費の支給も利用者の利用日数分だけです。利用者が休むと支給額の減になり、運営が厳しくなります。支援費が減額になると人件費等を削る等、利用者にとって施設の環境悪化に繋がるのではないかと、心配です。

M・Oさん

磁気誘導ループが使えず、全く聞こえませんでした。でも、手話が理解できる人がほとんどでした。しかし、手話通訳者にもかなり聞き取りにくかったです。お二人の部長の回答では、手話通訳の手も止まっています。くぐもって聞こえない状態だったようです。何でもそうですが、利用者が常時評価できるようなシステムがないと、忘れられがちですね。

**2005年度市民自治
政務調査費収支報告**

1.収入

政務調査費 3,600,000円(2人分)
(中野区議会では議員1人に月15万円支給、
会派ごとに使う)

2.支出

科目	金額
研究研修費	700,636円
調査旅費	251,505円
資料費	461,767円
広報費 <small>市民自治の風、うさぎだより、など</small>	1,532,923円
広聴費	15,088円
会議費	0
行動費	0
人件費	297,000円
事務費	265,680円
その他の経費	0
合計	3,524,599円

3.残額 75,401円

(残金は区に返還しました)

佐藤ひろこの収支報告

2005年12年~2006年4月

	12月	期末手当	1月	2月	3月	期末手当	4月
収入	¥588,200	¥1,407,268	¥588,200	¥588,200	¥588,200	¥213,222	¥588,200
費用	¥15,000		¥12,000	¥6,000	¥21,000		¥39,000
支出	¥78,387	¥160,430	¥65,560	¥65,560	¥65,560	¥28,360	¥65,560
年金・保険	¥151,680	¥70,350	¥151,680	¥151,680	¥151,680	¥10,650	¥90,680
活動費	¥70,713	¥533,040	¥40,546	¥46,773	¥82,442		¥56,457
積み立て	¥15,000		¥12,000	¥6,000	¥21,000		¥39,000
残	¥287,420	¥643,448	¥330,414	¥324,187	¥288,518	¥174,212	¥375,503

佐藤ひろこの活動日誌から

- 4月
- 3 桃園デイクラブ
虹と緑政策研究会関東ブロック
- 6 谷戸小学校入学式
- 7 九中入学式・総務委員会
- 10~15 中野駅前トーク
- 14 区民参加の中野をすすめる会
- 16 障害者自立支援法説明会
- 23 中野ハンディキャプの会
- 24 グループタッチ「在日外国人の問題を考える」
- 26 障害福祉政策について田中区長と意見交換会
- 28 区民の会お茶会
- 5月
- 11 中野駅周辺整備・交通対策特別委員会
- 14 ふれあい運動会
- 18 中野区障害者防災委員会
- 19 虹と緑国・地方政策研究会
- 20 区民参加の中野をすすめる会街頭活動
- 21 「わいわい@ふくしま」で講演「市民参加で自治体を変える」
- 22 総務委員会
- 27・28 中野駅前トーク
- 30 谷戸小学校運動会
- 6月
- 4~10 中野区長選挙 田中大輔氏応援
- 21 大阪府へ自立支援法と障害者雇用について調査
- 22 吹田市のバリアフリー基本構想策定委員会を傍聴
- 29 東松山市総合福祉エリア視察
- 30 本会議
- 7月
- 3~4 本会議
- 5 Dネット「田中区長と産業振興について懇談」
- 6~7 総務委員会
- 9 ふえみん婦人民主クラブ全国大会
- 10 厚生委員会傍聴
- 11 中野駅周辺整備・交通対策特別委員会
- 13 本会議
- 14 市場化テスト学習会
- 15 障害者自立支援法説明と意見交換の会
- 19 中野ダイスキ会
- 20 中野障害者防災委員会・ふれあい納涼のつどい
- 21 記録映画「アンニョンさよなら」鑑賞
- 22 翔和学園公開授業・学校説明会
- 24 中野区保健福祉審議会障害者部会傍聴
- 31 静岡県へ要援護者の防災対策の視察

6月12日

田中大輔さん当選
中野区長選挙で田中大輔さんが、36、554票で再選された。投票率は27.73%と、過去2番目の低さ。区長選挙への関心が高められなかったことは残念。自民党、民主党、公明党と3大政党との選挙に、私自身とまどいも大きかったが、中野区民のためになる区政を目標にがんばることができた。最終日、田中さんは自転車で南から北まで区内を元気に走り、スポッ

6月17日

遠距離介護
1月末に父が大怪我をしてから、たびたび大阪の実家に通っている。寝たきりだった父がようやく病院から退院してきた。母は疲れが出たのか風邪を引いてダウン。ケアマネージャーさんとケアプランについて相談した。部屋の掃除などの訪問介護は体の弱い母が以前から受けていたが、介護保険の見直しで時間が減らされた。それに、母のヘルパーは父の部屋の掃除が得意なはずだ。それで、父のケアプランで、もう一日訪問介護をお願いすることにした。税金も投入されているからこそ、使い方に厳密さが要求されるのは当然だが、生活実態に合わない部分もある。

7月31日

中野障害者防災委員会
5月に障害当事者の人達を中心になり、障害者防災委員会を立ち上げた。災害時助け合えるネットワークづくりを目指している。これまで、区の防災課や医師会、薬剤師会の方のお話を聞いた。薬剤師の方からは、緊急時のために、薬局からもらった薬の処方箋をいつも持っているのと良い等、役立つ話も伺えた。

この日は、メンバーで静岡県に災害時要援護者対策の視察に行く。一人の障害者の新聞の投書を読んだ職員が災害弱者への取り組みを始めた心意気がすごい。災害弱者支援ガイドライン、障害者への防災講座の開催、聴覚障害者緊急災害情報保障訓練の実施等、参考になった。今年度から、福祉避難所情

佐藤ひろこの 区政報告と意見交換会

日時 9月8日(金)午後7時~9時半
場所 中野商工会館1階 第一会議室

傍聴してね！
次の議会は
9月20日(水)~10月20日(金)
陳情×切は9月11日(月)



障害者防災委員会で静岡県職員に話を聞く

報提供機器等整備事業費助成」制度などを新設し、市町村の取り組みを促そうとしている。